

公明 ひらつか

松崎 清子 議員

パークゴルフ場建設
地域活性化に期待

問 今回、パークゴルフ場の造成工事分として1億5000万円弱の補正予算が計上されている。この事業についてはパークゴルフ愛好者よりかねてから設置の要望が出されていることや、「公明ひらつか」としても17年度より要望してきている。このスポーツは北海道幕別町が発祥地であり、世界的な広がりを見せているが、その理由として手軽さにあるという。本市のこれまでの取り組み状況と経緯を伺う。

市長 今回、国の地域活性化・経済危機対策臨時交付金の要件に合うことから交付金を財源として整備することとした。また、上吉沢にある神奈川県企業庁の配水池の上部利用が認められ、NPO国際パークゴルフ協会公認コース認定取得に必要な18ホールを確保できることから整備することとした。

問 当初、パークゴルフ場の建設に当たり、愛好者より食事やバーベキューのできる施設を併設したい旨の要望がなされていると聞いている。本市には、市民がバーベキューをする場所がないことや地域活性化を図る観点からもバーベキューのできる施設を設置する考

えはないか伺う。

市長 今回は考えていないが、将来、地産地消の拡大強化の観点から、地域の方など民の力でできるかどうか投げかけてみたい。

地域福祉の充実
ボランティアの有償化

問 介護予防事業が自治体に義務付けられて3年経過した中で、介護支援ボランティアの有償化が全国的に議論されているが、本市の市民意識調査や町内福祉村などからどのような意見が寄せられているか。また、本市としてその意見をどう受け止めているのか伺う。

福祉部長 2000人の市民アンケートでは約60%の人が有償化に前向きな回答であり、地域福祉計画策定に伴うパブリックコメントなどからは有償化の検討に関する意見が寄せられている。本市としては6月にスタートする予定である「町内福祉村事業あり方検討会」で協議する。

地区社会福祉協議会と
町内福祉村の役割

問 行政が示した地域福祉計画の中には、これまで社会福祉協議会が取り組んできた分野との重複や関連が見られるなど、社会福祉協議会の役割や位置付けに大きく影響している。本市では地区社会福祉協議会や町内福祉村が地域で生活支援を必要とする人々を支えて

秋澤 雅久 議員

地域活性化・経済危機対策
臨時交付金の活用を問う

問 地域活性化・経済危機対策臨時交付金は本来ならば平塚市には交付されなかったところ、我々、公明ひらつかが鳩山総務大臣に申し入れをし、交付されることとなった。学校・ICT環境整備事業は原則2分の1を国庫補助とし、2分の1は臨時交付金で措置されることになっているが、学校教育のICT化を一举に進める最初で最後のチャンスになると思う。すべての校内LAN、テレビのデジタル化、教員一人に1台のパソコン整備を完了すべきと考えているが臨時交付金をどのように活用するのか。

待機児童急増
早急に求められる対策

問 平成20年秋以来、急速に落ち込んだ日本経済と並行して本市の待機児童数が急速に増加している。市民が安心して暮らせるように行政の素早い対応が求められているがどう検討しているのか伺いたい。

健康・こども部長 本市の6月1日現在での待機児童数は148人と20年度に比べ107人の増加である。そのため、民間保育所の新設と既設保育所の増改築で23年度に260人の入所定員の増を図る予定である。

問 21年度中に早急な対策を講ずるには、どのような方法が可能か、公共施設や公立・民間の各保育所、空き店舗など早急に実態調査をし、把握する必要があると思うが伺う。

健康・こども部長 入所定員の弾力的運用や公立や民間の各保育所の空きスペースの保育室への転用などについて協議をし、公共施設や空き店舗の利用などについては研究していきたい。

日本共産党
平塚市議会議員団

松本 敏子 議員

生活保護について

問 職員の人員配置は十分か。どのような指導・研修をしているのか。相談者は、その場で言われても全部を理解できない。文書で説明すべきと思うが見解を伺う。

福祉部長 現在20人が配置されているが、法で定める標準数には2人不足している。今後、確保に努めたい。相談は、その人の切実な思いをくみ取る気持ちがないと受けられない。「生活保護のしおり」は、必要な改良をしていきたい。

問 ICT化が進めば学校のパソコン、教員が使ったパソコンの数も増えてくる。セキュリティの問題など、

片やパソコンのトラブルなど、さまざまな対応については外部からCE、技術者を導入し、トラブル等の対応を図っていくというシステムを現在検討している。

問 本市の市営住宅の各種修繕は、ストック総合活用計画の中で、長期的計画を立てて進められることになっているが、経済危機対策の柱の一つである「安心と活力の実現」という点から、今回交付される臨時交付金を活用して、それぞれ優先度の高いもの、かつ、単年度での事業終了が見込めるものについては、少しでも計画を前倒しして、修

繕を進めるにはまたとない機会と思うが見解を伺う。

まちづくり事業部長 基本的にはストック総合活用計画に位置付けられたスケジュールに沿って進めていきたいと考えているが、市営住宅を取り巻く環境の変化を注視して、状況に応じて前倒しができるものがあれば検討していきたい。

問 校庭の芝生化の最大の長所は、芝生を守り育てることを通じて、学校・子供・地域の交流、助け合いのコミュニケーションが生まれ、社会活動、協働の場を提供することであると考える。臨時交付金を活用してきつ

日本共産党
平塚市議会議員団

松本 敏子 議員

生活保護について

問 職員の人員配置は十分か。どのような指導・研修をしているのか。相談者は、その場で言われても全部を理解できない。文書で説明すべきと思うが見解を伺う。

福祉部長 現在20人が配置されているが、法で定める標準数には2人不足している。今後、確保に努めたい。相談は、その人の切実な思いをくみ取る気持ちがないと受けられない。「生活保護のしおり」は、必要な改良をしていきたい。

問 ICT化が進めば学校のパソコン、教員が使ったパソコンの数も増えてくる。セキュリティの問題など、

介護保険について

問 市は「生活保護基準以下」の高齢者の保険料は「免除」すべきではないか。

福祉部長 減免分は他の被保険者に跳ね返る。今回の計画で、できる限り低所得者に配慮する方法を考えた。

問 滞納が2年以上になると、利用料は3割になる。滞納者は年金がわずか、またはない人である。真に苦しい人には利用料を1割に据え置くべきではないか。

福祉部長 被保険者間の公平を損なうため、法令に基づき給付制限をしている。

問 認定更新の際に軽い認定になった場合、今のまま続けたいかの確認をどういう方法で行っているのか。

福祉部長 国から通知があった時点で必要な方々に連

保育園について

問 待機児の解消策は。健康・こども部長 23年度に入所児の260人増を計画している。また、定員の弾力的運用や、保育園の空きスペースの活用で待機児解消をしていきたい。

問 保育園民営化について方向性、具体策を聞きたい。

健康・こども部長 限られた人材等を有効活用し、ニーズに対応したサービスや子育て支援の充実を図るため、公立保育所の担う役割、方向性について、現在検討を進めている。

問 平塚市のパート賃金、嘱託保育士の賃金が非常に低い点をどう考えているか。

健康・こども部長 人材確保の面から検討が必要であると認識している。